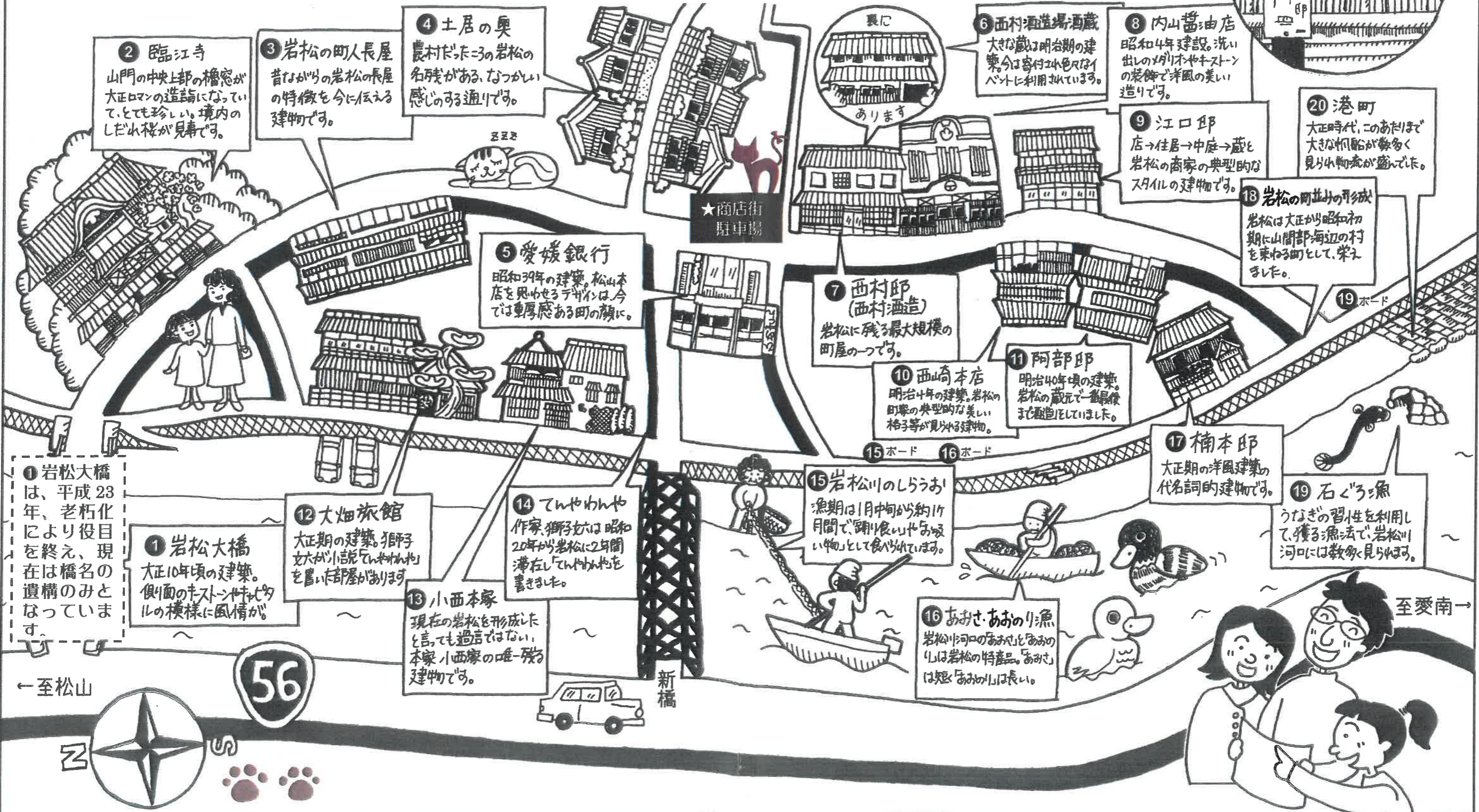
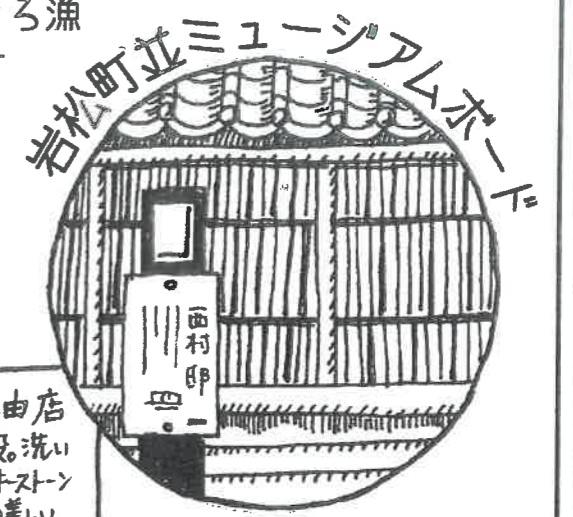


岩松の町並み 町並ミュージアム

- ① 岩松大橋
- ⑦ 西村邸(西村酒造)
- ⑬ 小西本家
- ⑮ 石ぐろ漁
- ② 臨江寺
- ⑧ 内山醤油店
- ⑭ てんやわんや
- ⑯ 港町
- ③ 岩松の町人長屋
- ⑨ 江口邸
- ⑰ 岩松川のしろうお
- ⑱ あおさ・あおのり漁
- ④ 土居の奥
- ⑩ 西崎本店
- ⑲ 楠本邸
- ⑤ 愛媛銀行
- ⑪ 阿部邸(阿部酒造)
- ⑳ 岩松の町並みの形成
- ⑥ 西村酒造場酒蔵
- ⑫ 大畑旅館



② 臨江寺
山門の中央上部の櫓窓が大正ロマンの造詣になっていて、とても珍しい。境内のしだし松が見事です。

③ 岩松の町人長屋
昔ながらの岩松の長屋の特徴を今に伝える建物です。

④ 土居の奥
農村だった頃の岩松の名残がある、なつかしい感じの通りです。

⑤ 愛媛銀行
昭和39年の建築。松山本店を思わせるデザインは、今では重厚感ある町の顔に。

⑦ 西村邸(西村酒造)
岩松に残る最大規模の町屋の一つです。

⑥ 西村酒造場酒蔵
大きな蔵は明治期の建築。今は寄付した色紙はイベントに利用されています。

⑧ 内山醤油店
昭和4年建設。洗出しのタタキやタタキの装飾で洋風の美しい造りです。

⑨ 江口邸
店→住居→中庭→蔵と岩松の商家の典型的なスタイルの建物です。

⑳ 港町
大正時代、このあたりまで大きな船が数多く見られ物産が盛んでした。

⑬ 岩松の町並みの形成
岩松は大正から昭和初期に山間部・海辺の村を束ねる町として、栄えました。

① 岩松大橋
平成23年、老朽化により役目を終え、現在は橋名の遺構のみとなっています。

① 岩松大橋
大正10年頃の建築。側面のキーストーンがタタリの模様に風情が。

⑫ 大畑旅館
大正期の建築。獅子文太が小説『てんやわんや』を書いた部屋があります。

⑭ てんやわんや
作家獅子文太は昭和20年から岩松に2年間滞在して『てんやわんや』を書きました。

⑬ 小西本家
現在の岩松を形成したと言っても過言ではない。本家小西家の唯一残る建物です。

⑮ 岩松川のしろうお
漁期は1月中旬から約1ヶ月間で、朝早いと夕遅い物として食べられています。

⑪ 阿部邸
明治40年頃の建築。岩松の蔵元で一番最後まで醸造していました。

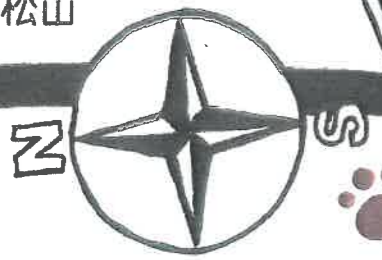
⑩ 西崎本店
明治40年の建築。岩松の町家の典型的な美しい格子等が見られる建物。

⑰ 楠本邸
大正期の洋風建築の代名詞的建物です。

⑱ 石ぐろ漁
うなぎの習性を利用して獲る漁法で、岩松川河口には数多く見られます。

⑯ あおさ・あおのり漁
岩松川河口の「あおさ」と「あおのり」は岩松の特産品。「あおさ」は短く「あおのり」は長い。

←至松山



新橋

→至愛南

